

解体前のご注意

- 取扱いは慎重に行い、ゴム手袋等の保護具を必ず着用してください。また、スイッチは必ず「OFF」にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。
- ボニーミンサーは全機種モーター側から見て右回転仕様となっています。空の時、逆回転をしないでください。ナイフ・プレートの破損や早期摩耗につながります。
- もし⑥のリングが固く締まっているようでしたら、木槌(木ハンマー)か樹脂ハンマー等で3つの凸部分を軽く吐出口から見て左方向へ叩いてください。
- ナイフ刃面は切れ味を良くするために研磨しています。刃面を素手で触れるとけがをしますのでやめてください。また、刃面を傷付けないよう、充分ご注意ください。ナイフの入れ方は解体図の通りです。
- 部品等をご用命の際は必ず製品名をご指定願います。
- ⑨ギアボックスと⑩モーターカバーは外すなど絶対に解体しないでください。



ご使用前の準備

- 本機は組み立ての際、酸化を防ぐため一部油を塗ってあります。解体図にしたがって①～④、および⑥⑦を分解し、中性洗剤等で十分に油を洗い流してください。



1 機械を設置する

機械は平らなところに設置してください(とくに火気の近くや湿気の多いところは避けてください)。

2 油を落とす

ナイフとプレートにはサビ止めのための油を塗ってあります。取りはずして洗剤等で油を洗い流してください。プレートの穴の中もブラシ等でよく洗ってください。洗浄後はすぐに水分を布巾等でふき取ってください。

ご使用前の準備 (つづき)

3 空転させる

洗い終わった本体は次の点にご留意の上、元通り順番に①②③④⑥をセットしてください。

(イ) ナイフの刃のついた面(Bonnyのロゴが刻印されている側)が外側になっているか。
(ロ) プレートの研磨された面(平らな面)を内側にして、ナイフの刃先と密着しているか。この際、プレートのまわり止め(半円の溝)が本体のピンにはまり込むようセットしてください。

(ハ) 最後にリングを本体に締め込み、ナイフ・プレートを固定してください。

この時、先にセットしたプレートが凸部よりはずれないようにご注意ください。また、リングは必要以上に固く締め込まないでください。

この後電源を入れ、10秒程度空転させてください。

※名称(表現)は4ページの「解体図」をご参照ください。

4 試験挽きをする

組立後初めてご使用になる前に、大根その他の野菜の切ったもので試験挽きをしてください。残りの油分や汚れが取り除かれます。

なおご使用中にナイフにスジ肉や魚の小骨などがからみ付くことがあります。その時は一度プレートとナイフを取り外し、ナイフにからんでいるスジ肉や小骨を取り除いてご使用ください(プレート、ナイフを掃除する時には必ず保護具を着用してください)。

作業に入る時は充分注意し、材料を押し込む時は必ず専用の押棒を用い、スプーンやしゃもじ、 tong等は使わないでください。誤ってロールに巻き込まれる等、思わぬ事故や故障の原因となります。また、手や指で押し込むことは大変危険ですので、おやめください。

